

冒険しんぶん

2010/06/26
ピア/発表会
第8版
発行・編集
ポコリーナ
ケンケン

あと究極のニッチビジネス
が、パトカーマニアのための
写真販売。

今回のインタビューはmikiさんです。

mikiさんはこの会が上野で開催されて時に一度いらして、その後新宿御苑に移った後よくいらして下さっています。

ニックネーム・・・mikiさん

「最近新しい職場に移られたとお聞きしましたが、どのようなお仕事をされていますか？」

今は原子力発電関係の独立行政法人で働いています。

廃棄物をどう処理するか、とか、そんな組織で事務作業をしています。

「そうなのですか！以前お話しした時も、民間企業ではなく政府系のお仕事をされていたような気がしましたが・・・」

「そうそう。ここまで紆余曲折ありまして・・・まずは出版社だったんです。」

「出版社ですか。そういえばこのコミュニティの中にも出版関係の方がいらっしやいますよね。またどうして出版に？」

「なんか格好よさそうだったんで(笑)。それ以外考えていなかったですね。」

「どんな本を出していたんですか？」

それが面白くてですね。独立起業を応援するような雑誌だったんですよ。

「へええ、セブンイレブンをやるう、みたいなの？」

「そうです。それで自分でビジネスしてる人達にインタビューに行ったりしてたんですよ。」

「はんにゃさんとか、ガンに効く(??)きのこ屋さんとか、活魚やピアノなどお運びビジネスで開業とか、いやし産業大研究とか、特別なインテリアをネット販売してる人とか。」

「インテリア？」

「自宅におけるカフェ風のこじやれた照明器具専門のネット通販のお店でした。」

「月々割りと売り上げが当時はあがっていたみたいです。あとはオオクワガタとか・・・」

「オオクワガタがビジネスになるんですか?！」

「あれって8cmぐらいになるまで育てると1体が1000万円ぐらいになるものもあるんですよ。」

「昆虫がビジネスに・・・知らなんだ。」

「パトカーのおたくの人が、

あらゆるパトカーの車種と出現場所を調べて、その写真を撮って販売するんです。」

撮影のために警察よりも早く事故現場にいちゃったとか、パトカーの教習所にいつのまにかもぐりこんで後部座席で助手席と運転席にいる警官の肩越しの写真を撮影、とか、話が面白かったです。副収入で、月収20万円ぐらいあったみたいですけど。

「うーむ。いろいろあるんですね。その出版社の後はどんな会社でした？」

「その次がPR会社でした。」

「PR会社は広告とは違って、例えばですがクライアントの売りたい商品を新聞などで記事として取り上げてもらえるようにしたりすることをしています。」

「新聞や雑誌に記事として取り上げられたりすると、商品の信頼度が上がりますよね。」

「私が担当したわけではないですが、例えばキットカット(チョコレート菓子)がありました。」

「「きつと勝つ」にかけて、受験生に訴求したりしました。」



「へええ。MikiさんはどんなPRをされたんですか？」

「私のお客さまはお役所だったので、わりと地味な仕事にまつわるパンフレットなどを作ることに、

たとえば「川でバーベキューをしたら片付けて帰りましょう」とか「新しい道路ができました」「堤防を作ることは大切なことです」みたいな

ポスターや冊子を作っていましたね。

「そうなんです。PRのお仕事っていろいろあるんですね。

やっぱり仕事はハードだったので、例えば終電30分前に仕事終えて終電までラーメン食べて帰るとか（苦笑）。

「大変そうですが、すごいキャリアですね。それでもまた別の仕事にトライされたんですか？」

「ハードな仕事だったので、泥のように疲れていたんですね。

仕事のためにだけ生きていていいんだろって思いました。それでももうすこし時間に余裕があつて、社会に貢献できる仕事はないかと思って、

有名な某募金の組織で働くことになりました。

「おお、あの有名な。あの時期になるとアナウンサーが羽つけますよね。

そこでは今までいた民間企業と

はうってかわって、お役所の仕事というのを目の当たりにしました。

たとえばびっくりしたことに、信じられないぐらい仕事が遅いんですよ。

「どれぐらいですか？」

手紙を一通出す程度の仕事ごとに番号がふってあつて、

その仕事を一つすすめるためには職場内全員のハンコが必要だとか。

「稟議書ですか。私も前の会社が超古い体質だったのでそんなこともありました。

あと、前のPR会社の職歴を活かして、派遣ではあつたんですが基金の改革をする、というミッションに携わりました。

「すごい！派遣さんなのに重要なお仕事に就かれてたんですね。

他の大組織でトップを走っていた女性リーダーが改革の中心として来たんですが、

その人に「あなたのことを派遣と思っていないから、旧体質の人を民間パワーで一掃して！」って言われたり。

ただこのリーダーが、バリバリの元ウーマンリブの人で、どうやら元のところで上手くいかなかったちゃったみたいではあるのですが・・・。

「じゃあ、旧態依然としたその組織を改革しよう奮闘されたん

ですね。

「闘ってました（苦笑）。

例えばプロパーの人たちは、「自分たちはこんなに頑張ってるんだから、何も言わなくてもみんなやっていることをわかってくれているはず」という思い込みが結構あつて、まずその意識と向き合わなければならなかったり。

「今まで何十年もそこにいた人たち相手に改革しようというのですから、なかなかしんどいんですよね。」

机から物がなくなったり、イスに画鋲が置いてあったりと色々な嫌がらせみたいなのもありましたよ。



「そうでしたか・・・そんなんじやまた疲れたりしませんでした？」

「会社をやめた後、なぜか謎の発熱が。」

「自分で自分の事を強いと思っていたんですけど、「人間て弱いんだな」って思いました。」

「その頃から座禅を始めたたり、あとこの時に発表会「コミュニティに入ったんですよ。」

ーそんな出会いが・・・。

今までバリバリキャリアの、所謂「勝ち組」を目指してきました。でもいろんな経験を経て少し方向性が変わってきました。

ーこの基金にいたときから、NPOの人たちとのつながりができたりしたし、

今は紙芝居ボランティアやガールスカウト(予定ですが)などをしています。

ーボランティアですか、素敵ですね！

地域のこととか、アフリカの歴史にも興味があります。

アフリカは300年ぐらい前から虐げられてきた歴史がありますよね。

また日本にも認知されていない弱者が沢山いるんです。

お年寄りとか、目だつて弱者ってわかる人には支えの手があつてまだマシなんですけど、

不登校の子どもとか、長年勤めてきたのにリストラにあつちゃう人とか、そういう声を汲み取れるようになりたいですね。

ー大事なことですよね・・・ちゃんと目標もお持ちで尊敬します。

もっと外国みたいにな、ボランティアや寄付をすることが当たり前になつたらいいなって思います。

周りに迷惑をかけないように、自分のコンパスで生きていたらどうなるかなと。

今は新しい仕事をしつつ、自分のやりたいことの準備をしたいです。

ー編集後記

お仕事のお話がとても面白くて、ピアノの記事が少なくなつてしまいました。すみません・・・。しかし改めて、ピアノのコミュニティにいらつしやる時って、メンバーの方皆様それぞれなんだなつて思います。

お休みの日に足を運んで下さる参加者の皆様には感謝感謝です。ヨクニさん、どうもありがとうございました！

ーおまけ・ミニ鳥図鑑

最後に心和む(?)可愛い鳥たちの画像を。

☆つばめ(親子)



毎年やってくるつばめさんです。先日、巣立っていきました。ちよつと寂しいですが、また来年も来てねー！

☆ウコッケイ



バーベキューをにしに、井の頭線沿線の公園まで行った時にいました。ちよつと見づらいですが・・・。なかなか珍しい鳥もいるものです。(ちなみに隣は神社です)

☆カルガモ(ちびっ子)



ポコが免許の更新をしに行った時に偶然見つけたカモの親子。こんなに近くで雛を沢山見るなんて初めて！



カメラ目線・・・かっこいい(笑)